

講義案内：A1A2 セメスター

4890-1041 GCL 講義 XI「国際制度とソーシャル ICT」

2017.09.05

<担当講師>

田中 正躬 元 ISO 会長
藤野 仁三 東京理科大学専門職大学院・前教授
福田 泰和 日本規格協会執行役員
岩垂 邦秀 日本規格協会 (標準化研究センター主席専門職)

<時間と場所> A1A2 セメスター 水曜日 6 限 工学部 3 号館 2F GCL ラボ (ローソン横)

<概要>

工学系の学生が、将来、技術の利用や普及に際し直面する、国際的な調整や問題の発見・解決、将来の見通しに関する能力にみがきをかけ、世界のリーダーとして活躍する資質を育成します。国際制度は、条約によるもの、地域によるもの、国によるもの、自主的な集まりによるものなど、技術や社会の急速な進展により多様で複雑な形態をなしています。

本コースでは、国際標準に焦点を当て、科学技術、経済社会、制度の関係性と変遷、それらと係わる次のようなケースを取り上げ、議論、検討します。

- ・アップルとサムスンの知的財産権戦争
- ・危機に陥った日本発の技術 (IC タグ等)
- ・技術ではトップを走る日本の鉄道技術が輸出で苦勞する理由など。
- ・標準は技術進歩の妨げになるか？

「評価」授業での議論への参加を主とする 期末に簡単なレポート

<本講義で習得できること>

国際標準で経済や社会を見る“視点”を習得出来ること 特に国際標準を中心とする国際制度を知ることにより、国際的な調整能力、問題発見解決能力、将来見通しの能力に磨きをかけられること。

また同時に実務的な知識として、標準と特許や WTO 制度との関係、国際標準の作成方法、多くの国際標準を作る組織の特性、研究開発と標準の関わり、標準の考え方をを用いて信頼性を付与したり、リスクの管理の仕方等を習得できます。

<講義タイトル> …予定

1. 9/27 田中 なぜ国際標準、知財等 国際制度が重要か？
2. 10/4 岩垂 ビジネス戦略と国際制度との係り
3. 10/11 福田 知財制度と国際標準
4. 10/18 藤野 事例研究 1 (スマートフォン：標準化と知財戦略)
5. 10/25 藤野 事例研究 2 (燃料電池車：標準化とマーケティング戦略)
6. 11/1 田中 国際取引のルールと事業戦略
7. 11/8 田中 国際標準の力と作成プロセス
8. 11/22 福田 信頼を構築するための制度と国際標準
9. 11/29 田中 社会インフラの輸出 (新幹線)
10. 12/6 岩垂 民主化するマーク
11. 12/13 岩垂 セキュリティ認証
12. 12/20 福田 国際標準の将来と国の政策